

# 六甲山全縦コース植生調査(①塩屋～高倉台)

2011.2.20 調査

塩屋駅～旗振山とりつき					
常緑樹		落葉樹		山野草	
1 ヤマモモ	16 アオキ	1 ムクノキ	16	1 ホトケノザ	16
2 ウバメガシ	17 イタビカズラ(ツル)	2 ハゼノキ	17	2 ノハカタカラクサ	17
3 ネズミモチ	18 ヒサカキ	3 アベマキ	18	3 ハコベ	18
4 クロガネモチ	19 シロダモ	4 アキニレ	19	4 トクサ	19
5 マサキ	20 カクレミノ	5 クコ	20	5 ヨモギ	20
6 キンモクセイ	21 トベラ	6 コナラ	21	6 スイセン	21
7 ヤツデ	22 キズタ(ツル)	7 イロハカエデ	22	7 オオバコ	22
8 クスノキ	23 ヒメユズリハ	8 キリ	23	8 ハルノノゲシ	23
9 シヤシャンポ	24 サザンカ	9 イヌビワ	24	9 ヒメオドリコソウ	24
10 マダケ	25 カイツカイブキ	10 ヌルデ	25	10 ツワブキ	25
11 ヤブニツケイ	26 ヤブツバキ	11 タニウツギ?	26	11 カスマグサ	26
12 ナワシログミ	27 アラクシ	12 カキノキ	27	12 ハルジオン	27
13 シュロ	28 ビワ	13	28	13 ヤブジラミ	28
14 ヒイラギ	29 イヌマキ	14	29	14 ヤエムグラ	29
15 カナメモチ	30 スダジイ	15	30	15 ヒメウス	30
特記事項	途中、山王神社・毘沙門天神社などがあり、かなり人工的な植生。				

旗振山とりつき～旗振山頂上					
常緑樹		落葉樹		山野草	
1 マサキ	16 ヒメユズリハ	1 ミツバアケビ(ツル)	16 ネジキ	1 ネザサ	16
2 トベラ	17 アオキ	2 ヒラドツツジ	17 ハリエンジュ	2 ベニシダ	17
3 アラクシ	18 カゴノキ	3 アベマキ	18 クサイチゴ	3 コシダ	18
4 ネズミモチ	19 ソヨゴ	4 ヤマザクラ	19 ヤマコウバシ	4 ワラビ	19
5 ヒサカキ	20 イヌツゲ	5 コナラ	20	5 アメリカセンダングサ	20
6 ムベ(ツル)	21 モチノキ	6 ノイバラ	21	6 ホトケノザ	21
7 カイツカイブキ	22 モチツツジ	7 ハゼノキ	22	7 ギンギシ	22
8 カクレミノ	23 カナメモチ	8 ウラジロノキ	23	8 セイヨウタンポポ	23
9 ナワシログミ	24 ヤツデ	9 サルトリイバラ(ツル)	24	9 オオイヌフグリ	24
10 アカマツ	25 イタビカズラ(ツル)	10 ムクノキ	25	10 ウラジロチチコグサ	25
11 ヤブニツケイ	26 クロガネモチ	11 リョウブ	26	11 ナズナ	26
12 シヤシャンポ	27	12 コバノミツバツツジ	27	12 ノコンギク	27
13 ウバメガシ	28	13 コウヤボウキ	28	13 ウシハコベ	28
14 ヤマモモ	29	14 ヤマハゼ	29	14	29
15 サネカズラ(ツル)	30	15 ヤマウルシ	30	15	30
特記事項	高木層にアラカシ・ヤマモモ、低木層にはネズミモチ・アオキ・ヒサカキなど、いわゆるアラカシ群落？ 須磨浦山上遊園地内の植生は省いた。				

旗振山頂上～高倉山					
常緑樹		落葉樹		山野草	
1 マサキ	16 モチノキ	1 クコ	16 コバノミツバツツジ	1	16
2 クロガネモチ	17 ソヨゴ	2 サルスベリ	17 カマツカ	2	17
3 カクレミノ	18 ヤマツツジ	3 ヒラドツツジ	18 サルトリイバラ(ツル)	3	18
4 ヤブニツケイ	19 ムベ(ツル)	4 マルバハギ	19 コナラ	4	19
5 シロダモ	20 イタビカズラ(ツル)	5 タニウツギ	20 コウヤボウキ	5	20
6 アオキ	21 カナメモチ	6 エノキ	21 ハゼノキ	6	21
7 アラクシ	22 ナワシログミ	7 コナラ	22 アキグミ	7	22
8 シラカシ	23 シャリンバイ	8 マルバアオダモ	23	8	23
9 ウバメガシ	24 ネズミモチ	9 ナツハゼ	24	9	24
10 ヒサカキ	25 モチツツジ	10 ヤマザクラ	25	10	25
11 モッコク	26	11 イロハカエデ	26	11	26
12 ヤマモモ	27	12 ネジキ	27	12	27
13 ヤブツバキ	28	13 アベマキ	28	13	28
14 カゴノキ	29	14 リョウブ	29	14	29
15 ヒメユズリハ	30	15 ウラジロノキ	30	15	30
特記事項	鉄拐山付近からの尾根斜面は、ウバメガシの純林に近いウバメガシ群落(低木層にカクレミノ・ネジキ・ツツジ類など)が目立つ。 旗振山とりつきから高倉山までは尾根コースということもあり？植生は単純。 高倉台公園内の植生は省いた。				

調査メンバー 品川、 栃尾、 武川、 堀池、 吉野、 堂瀬、 長谷川、 久保、 福本